

アイソスの 回文かるた

う

うかきゆんごしん
ぜつととつぜん
しこうゆきかう

う



first message from ISOS

*回文=上から読んでも下から読んでも同音の文章。



羽化Q 孤身Z 突然施行行き交う

新しいISOがさなぎから羽化。

抜け殻になった孤身のさなぎはそのまま3年間存続した後、消滅。

現行のISO 9001:1994 (94年版)のJISはJIS Z 9901:1998です。この国際規格は現在改訂作業中で、2000年12月中旬にISO 9001:2000 (2000年版)が発行される予定です。この2000年版のJISはJIS Q 9001:2000という番号になります。2000年版が発行されても、94年版はすぐに廃版にならず、3年間は使用することができます。これは、今まで94年版で認証準備をしていた組織、あるいはまだ認証を取ったばかりの組織などは、2000年版が出たからといって、すぐに移行するのは大変だからです。そのあたりを配慮し、各国の審査登録制度においては、2000年版への移行をスムーズに実施するため、3年間の猶予期間を設けました。2000年版が発行されて3年が過ぎると、94年版は廃版になります。

さて、規格が改訂されるだけなのに、JISは記号まで変わっていますね。94年版のJISにはZが付いており、2000年版のJISにはQが付きます。このアルファベットはJISの部門記号です。たとえばAは「土木及び建築」を意味します。Zは「その他」です。ISO 9000sが発行された当初、この規格は今までのどの分野にも該当しない新しい概念だったので、「その他」に区別されたのです。その後、「標準物質／管理システム等」の分野を意味するQという部門が新設されます。有名なのがJIS Q 14001ですね。この分野の規格は急増しており、10月末時点で8877件あります。品質分野では、医療用具や航空宇宙などのセクター規格がQの部門に該当します。

ダブルスタンダードの時期が3年間続くので少しややこしいですが、やっぱり、これから羽ばたこうとしている2000年版に目がいきますよね。